

共通パラメータ

セクション	エントリ	エントリの説明	値	既定値	値の説明
ColorMode	ColorMode	表示色	0		レイヤ色
			1	○	図形色
	WidthMode	表示幅	0		レイヤ幅
			1	○	図形幅
	StyleMode	表示線種	0		レイヤ線種
			1	○	図形線種

AutoCAD形式

入力セクション	エントリ	エントリの説明	値	既定値	値の説明	
DXFIN_ESTABLISHMENT	GX5	GX5形式読み込み	0	○	通常ルーチンで読み込み	ModePaper=2の時にだけ、使用可能な設定情報です
			1		GX5専用ルーチンで読み込み	
	ModePaper	図面サイズ	0	○	用紙サイズと縮尺を、ヘッダ記述から得る	
			1		用紙サイズと縮尺を、図形の範囲から得る	
			2		用紙サイズを、固定で選択する	
	ValuePaper	固定用紙	0	○	A0	
			1		A1	
			2		A2	
			3		A3	
			4		A4	
	ModeScale	縮尺も固定にする	0	○	縮尺を固定にしない	ModeScale=1の時にだけ、使用可能な設定情報です
			1		縮尺も固定にする	
	ValueScaleD	固定の縮尺分母		1	縮尺分母値	
	ValueScaleN	固定の縮尺分子		1	縮尺分子値	ModeOffset=1の時にだけ、使用可能な設定情報です
	ModeAdjust	オフセット	0		読み込み時に、第一象限に移動しない	
			1	○	読み込み時に、第一象限に移動する	
	ModeOffset	オフセット	0	○	読み込み時に、オフセットを加えない	
			1		読み込み時に、オフセットを加える	ModeOffset=1の時にだけ、使用可能な設定情報です
	ValueOffsetX	オフセット		0	オフセットX値	
	ValueOffsetY	オフセット		0	オフセットY値	
	PaperSpace	ペーパー空間の扱い	0		モデル空間と同列に扱う	
			2		読み込まない	選択内容によりマルチページ化されます
			3	○	読み込む	
	ModeViewport	ビューポート	0		ビューポートを使用しない	
			1	○	ビューポートを使用する	
	AddNewLayer	レイヤ情報	0		レイヤ番号は名称から数字抽出・初期値レイヤに上書き	
			1		末尾にレイヤを追加する	
			2		レイヤ変換テーブルを使用してレイヤを割り当てる	
			3		空き番号にレイヤを追加する	
			4		レイヤ番号は名称から数字抽出・初期値レイヤを保持	
			5		レイヤ番号は名称から数字抽出・AutoCADレイヤのみ	
	ModeStyle	線種情報	6	○	AutoCADレイヤのみを使用する	
			0	○	線種情報を抽出して自動的に線種を割り当てる	

共通パラメータと
入力セクションの設定項目は、
DWG→「図脳CADエンジン」へ
データ構造を展開する仕様を
定義します。

		1		線種変換テーブルを使用して線種を割り当てる	TeCAでは機能しません。0のみ有効です。
ModeWidth	線幅情報	0	○	線幅情報を抽出して自動的に線幅を割り当てる	
		1		線幅変換テーブルを使用して線幅を割り当てる	TeCAでは機能しません。0のみ有効です。
ModeColor	色情報	0	○	色情報を抽出して自動的に色を割り当てる	
		1		色変換テーブルを使用して色を割り当てる	TeCAでは機能しません。0のみ有効です。
ModeStr	文字サイズの調整	0		文字列長を優先して変換する	
		1		文字サイズ値を優先して変換する	TeCAでは機能しません。0のみ有効です。
		2	○	AutoCADの文字列長を基準に変換する	
		3		文字サイズを調整しないで変換する	
		4		フォントも含めて文字設定値で固定して変換する	
Attrib	属性文字	0		無視する(読み込まない)	
		1	○	文字に変換して読み込む	
ModePoly	ポリラインの扱い	0	○	ポリラインとして扱う	
		1		線分要素に分解する	
ModeSpline	スプラインの扱い	0	○	点通過曲線として扱う	
		1		線分要素に分解する	
		2		円弧要素に分解する	
ModeHatch	ハッチングの扱い	0		ハッチング(図形)として扱う	
		1		ハッチングとして扱う	
		2	○	実線以外のハッチングはハッチング(図形)として扱う	
ModeDim	寸法の変換	0	○	寸法を寸法設定形状で読み込む	
		1		寸法等を分解して読み込む	
ModeDimAttrib	寸法設定形状	0	○	AutoCADの寸法情報を基準に変換する	
		1		端部記号と寸法文字を寸法設定で固定して変換する	
ModeDimValue	寸法値	0	○	寸法値をブロックセクションから取得	ModeDim=0の時にだけ、使用可能な設定情報です
		1		寸法値を計測点から取得	
ModeDimCoordinate	座標寸法の変換	0		寸法等を分解して読み込む	
		1	○	引出線として読み込む	
ModePickAttrib	引出線の変換	0	○	AutoCADの引出線情報を基準に変換する	
		1		端部記号と引出文字を引出線設定で固定して変換する	
DxfPointToMark	点の変換方法	0	○	ドット記号として変換する	
		1		黒丸記号として変換する	
ModeUnit	図面の単位	0	○	図面から取得	
		1		mm	
		2		cm	
		3		m	
		4		km	
		5		インチ	
		6		フィート	
		7		マイル	
ClippingRaster	クリッピング処理を行う	0		クリッピング処理を行わない	
		1	○	クリッピング処理を行う	
UsePolyWidth	幅付きポリラインは	0	○	幅付きポリラインを塗り図形に変換しない	

		塗り図形に変換する	1		幅付きポリラインを塗り図形に変換する	
	ModeStrFont	文字フォントの変換	0	○	自動変換する	
			1		フォントを指定する	
	ModeStrSize	文字サイズの調整	0	○	文字幅を調整しない	ModeACadText=0の時にだけ、使用可能な設定情報です
			1		文字サイズを指定倍率で調整する	
			2		文字幅を自動調整する	
			3		設定値で固定して変換する	
	StrFont	フォント	図脳フォント		フォント名	ModeStrFont=1の時にだけ、使用可能な設定情報です
	StrRetioExpHeight	文字高さの比率		0.9	文字高さの比率の値	
	StrRetioExpHan	全て半角文字の場合の文字幅比率		0.65	全て半角文字の場合の文字幅比率の値	ModeStrSize=1の時にだけ、使用可能な設定情報です
	StrRetioExpZen	全角文字を含む場合の文字幅比率		0.65	全角文字を含む場合の文字幅比率の値	
	StrHeight	文字高さ		5	文字高さ値(mm用紙上)	
	StrWidth	文字幅		5	文字幅値(mm用紙上)	ModeStrSize=3の時にだけ、使用可能な設定情報です
	ModeACadText	AutoCAD文字標準変換	0		標準変換を使用しない	
			1	○	標準変換を使用する	
	UseModeACadText	AutoCAD文字表示モード	0		AutoCAD文字表示モードを使用しない	
			1	○	AutoCAD文字表示モードを使用する	
出力セクション	エントリ	エントリの説明	値	既定値	値の説明	
<p>Pdf</p> <p>出力セクションの設定項目は、「図脳CADエンジン」→PDFへデータ構造を展開する仕様を設定します。</p> <p>まず出力セクションを優先的に見直し、微調整は入力セクションで見直す、というのがコツです。</p>	PdfOutMono	白黒出力	0		カラー	
			1	○	白黒	
	PdfOutDPI	分解能[DPI]	72			
			96			
			100			
			150			
			180			
			200			
			240			
			300			
			360			
			400			
			600	○		
			1200			
	OneWidthLineMode	極細線出力	0		OFF	
			1	○	ON	
	PdfOutLayout	出力レイアウト	0		基本図	PaperSpace, ModeViewPortの設定でマルチページ化された図面に対し、PDFに吐き出すページを選択する設定です
			1	○	基本図+レイアウト	
			2		レイアウト	